平成31年度 富土市の当初予算

富士市」の実現に向けて~

新産業創出への支援や子育てを地域全体で支える環境づくりなど、都市活力再生戦略に位置づけ た取り組みに重点を置いた予算を編成しました。

予算額 **936億円**

県支出金 譲与税・交付金・交付税 県からの補助金など 国から地方に譲与される 64億1,434万円 税金など 6.9% 66億4,800万円 7.1% 24.1% 固定資産税 225億4,700万円 国や金融機関からの借入金 11.4% 106億7.800万円 歳え 市税 50.2% 国庫支出金 469億6.500万円 国からの補助金など 15.7% 19.5% 147億 225万円 市民税 1.7% 6.6% 182億5,750万円 繰越金 ほか 1.6%/2.1% 前年度からの繰越金や 3.3% その他の市税 寄附金、財産収入 都市計画税、市たばこ税、 14億6,416万円 軽自動車税 分担金及び負担金、 61億6.050万円 諸収入 使用料及び手数料 貸付金元利収入など 繰入金 市営住宅使用料、保育園 基金からの繰入金 等保育料など 16億2.331万円 20億1,181万円 30億9.313万円

商工費 農林水産業費 商業・工業・観光の振興など 農業・林業・水産業の振興など 26億9,149万円 14億7,559万円 その他 消防費 1!6% 15億1,898万円 消防・防災対策など 1.6% 33億4,293万円 2.9% 6.8% 3.6% 公債費 市債の償還金 34.1% 民生費 8.8% 63億5,489万円 子育て支援など 歳出 319億7,283万円 まちづくり活動や 9.2% 衛生費 戸籍の管理など 保健医療や 82億5,768万円 10.4% 環境対策など 21.0% 教育費 196億2,826万円

歳出を、年間の市民1人当たりの金額に換算してみると…

民生費 12万5,911円 (

学校整備や

社会教育など

86億5,177万円



衛生費 7万7.298円

土木費 3万8,221円

道路や河川の整備など

97億 558万円

※平成31年3月1日時点の人口(25万3,931人)をもとに計算しています。

業を行うために設けられた会計 社や道路整備、

市が独自に収入することができるお

国や県などから入ってくるお金及び借入金

本年度の主な新規事業

★···都市活力再生事業

家具固定推進事業

120万円

教育など、行政の基本的

保育園空調設備整備

1.900万円

★私立保育園施設整備助成

3億円

- ★富士山フロント工業団地第2 期整備事業 8億円
- ★CNF実用化推進事業(プラ ットフォーム設立ほか)

676万円

- ★田子の浦港第3波除堤機能強 化に向けた基本設計等
 - 6,900万円
- ★空家等対策推進事業(危険空 き家除却促進補助金)

710万円



前年度予算との比較

区分	平成 31 年度当初予算	平成30年度当初予算	増減額(前年度予算との比較)	増減率
一般会計	936億 円	831億 円	+105億 円	+12.6%
特別会計	531億8,460万円	516億8,110万円	+15億 350万円	+2.9%
企業会計	321億7,493万円	312億8,762万円	+8億8,731万円	+2.8%
dž	1,789億5,953万円	1,660億6,872万円	+128億9,081万円	+7.8%

予算額

321億7,493万円

病院事業

158億7.993万円

中央病院は、安全でよりよい 医療を提供し、市民の皆さん の命と健康を守ります。



公共下水道事業

97億2,100万円

下水道施設の整備や更新を進 め、生活環境の向上に努めま す。



水道事業

65億7,400万円

費の増により依存財源である国庫支出金、

市債が大幅

自主財源比率は、新環境クリーンセンター建設事業

安全でおいしい水道水を安定 的に供給するため、施設の整 備や更新を進めます。



上を占めています。

市民や企業の皆さんから納めていただく市税は8割以 発行手数料などがこれに当たります。自主財源のうち

られた会計

独立採算を原則とする事業を行うために設け

予算額 531億8,460万円

富士市には17の特別会計があります。 ただし、表中では内山特別会計ほか9会計(旧 ・一色・神戸・今宮、須津山、鈴川財産 区など)を省略しています。

特別会計名	予算額	
国民健康保険事業	243 億2,000万円	
後期高齢者医療事業	51 億7,000万円	
介護保険事業	194 億8,000万円	
新富士駅南地区土地区画整理事業	16 億5,300万円	
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	14 億5,500万円	
駐車場事業	7,300万円	
富士山フロント工業団地第2期整備事業	8 億円	

られた会計 もって特定の事業の費用に充てるために設け 市が特定の事業を行う場合や、特定の収入を

自主財源比率は58・9%

は58・9%です。

般会計予算の歳入のうち、自主財源が占める割合

市税や公共施設の使用料、

住民票の

企業会計 事業費の増などによるもの。 水道事業の老朽管の更新、 主要管路の耐震化などの

市活力再生戦略の重点実施

しましたが、引き続き高い比率を維持しています。 に増加したため、前年度に比べ、5・2ポイント低下

戦略に位置づけた取り組みとして、今年度は、 そのうち新規事業は、4件で、2億2270万円です。 事業、総額213億3450万円の事業を実施します。 第五次富士市総合計画後期基本計画の都市活力再生 166

※詳しい内容は、市ウェブサイト【くらしと市政→市政情

問い合わせ 財政課 **☎**55-2725 **2**351-1479 ■zaisei@div.city.fuji.shizuoka.jp

報→財政→予算→平成31年度予算】をごらんください。

特別会計

一般会計

特別会計

後期高齢者医療・介護保険の給付費の増、

富士山フ

ロント工業団地第2期整備事業特別会計の設置によ

る増などによるもの。

て関連経費の増などによるもの。 新環境クリーンセンター建設事業費や、子ども子育

平成31年度の予算規模は平成30年度に比べ一 特別会計が15億350万円、

が105億円、

が**8億8731万円の増額**となり、

全会計で128億

企業会計

般会計

9081万円の増額となる1789億5953万円で

予算規模は過去最大